

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	14
2. 大学等名	新潟工科大学
3. テーマ	II. 学修成果の可視化
4. 取組学部等名	工学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（400文字）
<p>少子高齢化に伴い、本学に入学する学生の質が多様化している。一方、本学は技術者を育成・輩出すると言う県内企業の熱い想いによって開学した工科系単科大学であり、入学時の力を最大限伸ばし、産業界に輩出すると言う大きな使命がある。</p> <p>そのため、本学は学生を育てる大学オンリーワンを目指し、実感、成果、戦略を得られる学修成果の可視化システムを確立し、一貫した教育プログラムと連動させ、学士としての質保証を図る。</p> <p>可視化システムは、ポートフォリオを基軸としてルーブリック、到達度テスト、企業との対話による評価を中心に行い「学修目標・計画⇒学修⇒学修成果の可視化⇒きめ細かい学生指導⇒学修計画の改善」と言う学生の学びと、「3つのポリシーを基本とした教育目標・計画（シラバス）⇒教育⇒学修成果の可視化⇒FD⇒内部と産業界等からの外部評価⇒教育計画・教育方法の改善」と言う教学マネジメントの2つの改善ループを構築する。</p>	